

## 第6回大和北道路地下水モニタリング検討委員会 議事概要

### 1. 日時

平成23年12月12日(月)10:00~11:30

### 2. 開催場所

近畿地方整備局 第1別館2階 第3会議室

### 3. 出席者

<委員>

大西委員長、上原委員、西垣委員、松村委員、三木委員

### 4. 議題

- 継続観測データの報告(地下水位観測・平城宮跡の土質等)
- 地下水モニタリング方針の策定にむけて

### 5. 議事概要

- 地下水位観測について、変動要因の詳細な分析、過去の渇水の際の影響も踏まえた整理が必要
- 地下水モニタリング方針の策定について、平城宮跡における現地検証方法は妥当であるが、平時データの取得や考慮すべき事項、シミュレーションによる効果予測が必要
- モニタリングエリアを拡大することは妥当であるが、工事実施の際に観測孔を追加することの整理が必要

<委員からの主な意見>

- 地下水位の変動要因を地下水の利用形態や地形的特徴等も踏まえ、分析すること。
- 渇水の際の影響をどう考えるのか、過去のデータを把握し、理解・整理することが重要。
- 木簡の保存土壌は、これまで科学的に議論できなかったもので、基礎データとして公表しているのは意味のあるもの。
- 平城宮跡にある人工池は、この地域の公有化に伴い、木簡保存のために造られていると聞いている。平時のデータ取得を早期に行い、効果の検証をできるようにすること。
- 検証の際は、検証箇所の状態の把握、涵養効果を高める検討、降雨の影響も考慮すること。
- シミュレーションによる効果予測を実施すること。
- モニタリングエリアの設定はこれで良いが、第2回委員会で議論した工事の際に観測孔を追加して測るという主旨を含めて整理すること。